

施工段階		その他		14	設備工事： 社内竣工検査 「関係法令、不具合予防」の留意点	シート番号 14-1			
電気	空調	衛生	その他						
○	○	○	—						

社内竣工検査で法規遵守や不具合防止の観点から検査を行うことは重要です。

しかし、物件の工事工程にのっとり、あなたが最低どのような検査を、いつ行うかの段取りにより内容が変わります。

日建連ホームページにも、参考となる資料があります。

ポイント

■いつ、何を行うか

- ・竣工前の忙しい時期前に、建築仕上げ⇒器具設置協力会社自主検査⇒社内検査⇒手直し⇒消防検査⇒建築確認検査⇒施主検査⇒引渡し の工程を見直しましょう。
- ・工程を計画した結果、建築仕上げ工程や、何時までに何を仕上げ、設備工事に引き渡してほしいか等、他業種に依頼が必要な工程はありませんか。
- ・関係法令のチェックは済んでいますか。
【設備関係官公署手続一覧表 参照】
- ・社内竣工検査は、どなたが行いますか、あなたが検査員ですか、受検者ですか。

■検査について

- ・検査員、受検者、協力業者の体制、日程調整は済んでいますか。

先輩アドバイス

- ・工事進捗状況によっては、数回に分けて行うことも必要です。
- ・中間検査の指摘内容に対する是正も確認しておきましょう。
- ・全数検査でない場合や、部分的に行う場合、協力業者の検査記録で代替えし、検査項目を絞り込んでおきましょう。

チェック項目

- 検査に必要な道具、測定機器、記録シート等は用意できていますか。
- 協力会社の自主検査記録書、残工事リストは用意できていますか。
- 消防完了検査、建築確認完了検査等に提出する、書類、写真、データは用意されていますか。

失敗すると...

- ・事前検査が重要です。大きな是正項目や建築など他業種に影響する項目の是正には、期間を要します。以降の工程にも影響が出ます。



共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	—	—	○	—	—	—	—	—	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		